

史料群番号 96

史料群名	たじま 田島キヨ家文書	旧所蔵者	田島キヨ
探訪時住所	大分県速水郡杵築町		
現在の住所	大分県杵築市		
探訪年月	昭和25（1950）年4月		
史料の年代	明治6（1874）年～大正4（1915）年	史料の 総点数	38点
年代の内訳	近代 38点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「1951年8月 漁業制度資料目録 第5集 内海篇Ⅱ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会		

収蔵にいたる経緯

探訪の書類はないが、「漁業制度資料目録 第5集」に寄贈と記されている。なお、同目録には33点の史料が掲載され、現在中央水産研究所には38点の史料がある。この差は、整理の過程で、挟み込まれていた史料を別に項目に加えたことによる。したがって、探訪から現在に至るまで、史料の散逸、移動はなかったと考えられる。

史料群の概要

速水郡杵築町（きつきまち）は、近世は杵築湾の城下町があったところで、明治8年に杵築村、明治22年に杵築町となり、昭和30年に杵築市となった。「漁業制度資料目録 第5集」に「田島氏は杵築藩士、筆者田島光輝氏は明治以後は地方役人をつとめた人で克明に日記を残し、その一部がこれである」と書かれている。史料はほとんど「備忘録」と書かれた横帳あるいは横半帳の日記で、筆者の田島光輝は大分県収税属として地租改正に関わっていた際、公務日記を40年にわたって克明に綴っていた。土地税制上の業務の実際を知るための史料となろう。

